

請願第 20 号 平成 22 年 9 月 1 日受理

件 名 ムサシトミヨを熊谷市の魚に選定することを求める請願

請 願 者 熊谷市久下 1481 - 1 熊谷市ムサシトミヨ保護センター内
熊谷市ムサシトミヨをまもる会
会長 竹内 章

紹介議員 新井 正夫、加賀崎千秋

要 旨 別紙のとおり

付託委員会 総務文教常任委員会

【件 名】

ムサシトミヨを熊谷市の魚に選定することを求める請願

【請願趣旨】

熊谷市ムサシトミヨをまもる会は、昭和 62 年に設立し、ムサシトミヨの生息域の保護・まもり人として活動しその成果が認められて、平成 15 年には、市立久下小学校と一緒に日本水大賞を受賞しました。市立佐谷田小学校・市立熊谷東中学校では、ムサシトミヨの保護・増殖を行い、今日まで 25 年間の繁殖数にはバラツキはありますが、繁殖数の合計が 13,605 尾に達し、ムサシトミヨの保護啓発および増殖基地・種の保存機関として役割を十分果たしてきています。

また、元荒川ムサシトミヨ生息地は、平成 20 年に環境省より名誉ある「平成の名水百選」に選定されました。

平成 3 年に埼玉県魚に選定されました。このことは、埼玉県内で希少生物として認められたと同時に 700 万県民の誇るべき魚であるということです。その生息地が唯一熊谷市であり、19 年経過した今、本市の環境のシンボルの魚・ムサシトミヨを熊谷市の魚に選定していただき、次世代にムサシトミヨが語り継がれるようお願いいたします。

世界中で熊谷市にだけ生き残った氷河期の遺産「ムサシトミヨ」を熊谷市の魚に選定し、「熊谷市の魚ムサシトミヨ」として誇りをもって、手厚い保護・安心・安全な取組みをされるよう請願いたします。

【請願事項】

1 世界で熊谷市にだけ生き残ったムサシトミヨを熊谷市の魚に選定すること。

以上、地方自治法第 124 条の規定により請願いたします。

請願第 21 号 平成 22 年 9 月 1 日受理

件 名 ムサシトミヨの生息する元荒川流域の下水道整備を行うこと
を求める請願

請 願 者 熊谷市久下 1481 - 1 熊谷市ムサシトミヨ保護センター内
熊谷市ムサシトミヨをまもる会
会長 竹内 章

紹介議員 磯崎 修、加賀崎千秋

要 旨 別紙のとおり

付託委員会 都市建設常任委員会

【件 名】

ムサシトミヨの生息する元荒川流域の下水道整備を行うことを求める請願

【請願趣旨】

熊谷市ムサシトミヨをまもる会は、昭和 62 年に設立し、ムサシトミヨの生息域の保護・まもり人として活動しその成果が認められて、平成 15 年には、市立久下小学校と一緒に日本水大賞を受賞しました。市立佐谷田小学校・市立熊谷東中学校では、ムサシトミヨの保護・増殖を行い、今日まで 25 年間の繁殖数にはバラツキはありますが、繁殖数の合計が 13,605 尾に達し、ムサシトミヨの保護啓発および増殖基地・種の保存機関として役割を十分果たしてきています。

また、元荒川ムサシトミヨ生息地は、平成 20 年に環境省より名誉ある「平成の名水百選」に選定されました。

しかし、ムサシトミヨの生息する環境は日増しに悪化し、平成 17 年生息調査では、5 年前に比べて生息数が半減し、現在では約 1 万 5 千尾にまで減少しています。生息地への生活排水の流入が、減少した主な原因と思われます。

本会員の高齢化により、保護にも限度があります。現在の生息環境では近い将来生活排水の流入による環境汚染で、生態系にも悪影響があり、絶滅する恐れがあります。ムサシトミヨが、次世代まで、安心・安全に生息できますよう、せめて約 4 km（保護センター附近～市立久下小学校附近）生活排水の流入しない下水道整備を行い、世界中で熊谷市にだけ生き残った氷河期の遺産の「ムサシトミヨ」を、絶滅させないよう手厚い下水道対策を行うよう請願いたします。

【請願事項】

1 ムサシトミヨの生息する元荒川流域の下水道整備を行う。

以上、地方自治法第 124 条の規定により請願いたします。